

第 2 回通学区域審議会

資料 1

日時：令和 6 年 8 月 6 日（火）午後 7 時～8 時 40 分

場所：結とぴあ 302 号室

(1) 資料について事務局から説明

(2) 委員からの主な意見

主な意見等	
委員	事務局
<ul style="list-style-type: none"> ・子や孫に話を聞いたところ、通学区域が変わって通う小学校が変わっても特に問題はなさそうである。 ・事務局案には賛成だが、どうしても元の有終東小学校に通いたいという意見があった場合、事務局はどのように考えているか。 ・児童数について、クラス編成の人数を聞きたい。将来的な話だが、人数がかなり減ることによって児童がどう思うかが心配なので、その辺りの配慮をしてほしい。 ・学校の立場からすると、児童数が減ると学校の活気もなくなり寂しくなるだろうと思う。学級数が減れば教員の数も減るので、多くの大人の目で見るとは難しくなる。 ・学級数が減るのは残念だが、工夫して教育活動を行っていききたい。 ・きょうだいと一緒に有終東小学校に通いたいという場合や、児童が一人になった場合の登校班はどうするか。 ・現状、有終東小学校区だが有終南小学校に行っている子はいるか。中学校の生徒でそう 	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい関係やその他の理由で、このようなケースは起きると思うので、どういう配慮をしていくか今後の検討課題である。 ・福井県の小学校の学級編成基準は 1 クラス 35 人である。 ・まずは通学区域をどうするかを中心に審議会で検討していただきたい。その後の方策については今後考えていかななくてはいけない。 ・現状ではない。今回の対象地区で、陽明中学校に行っている子はいない。

<p>いう例はあるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有終東小学校区の子で、何らかの理由で陽明中学校区にある親戚の家に住所を変更して、陽明中学校に行っていた子はいた。 ・アンケートの結果を見るといろいろな意見がある。いろんな事情があって、学校を変更することもできるということを広く周知できるとよい。 ・同じ小学校から同じ中学校へ行けるような配慮をしてほしい。 ・学校近くの児童館を利用している子も多いと思うが、児童館を利用する人数制限はないか。 ・アンケートを見て、多数決で決められるものではないという印象を受けた。ただ、1つの答えを出した時に、それぞれの部署で困ることがあるならそれを教えてほしい。不具合があるのかなのか教えてもらえると判断がしやすい。 ・有終西小学校の議論をした時に、方針を出した後で保護者や地域から課題として出されたようなことはあったか。 ・そのような声はどう対応したか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別に学校の変更が認められることは教育委員会の規則にある。年に1回広報にも出している。個別の相談にはのらせていただき、対応したい。 ・現状では、南部児童センターに登録している子は51人いて、定員は超えている。ただ、登録していても常時来ているわけではない。さらに4地区からの児童が増えれば児童センターは混み合うことにはなる。 ・課題として持ち帰り、検討したい。 ・有終西小学校の卒業生がどちらの中学校に行くかという議論だったが、卒業がせまっている子や来年卒業する子にとっては急に言われても準備ができない、十分な説明の時間を取って納得できるタイミングでスタートしてほしいという声が一番多かった。 ・最初は令和6年度から始めるとしていたが、ご意見をいただいて再度検討し、2年後の令和8年度から全員が開成中学校へ行くこととした。ただ、先行して開成中学校に行きたい希望があれば、変更を認めることとした。きょうだ
---	---

<ul style="list-style-type: none"> ・実際に変更して中学校へ入学した児童や具体的に相談された保護者が何件かあったか。 ・保護者アンケートの回収率はどれぐらいか。 ・地区の方々の思いや、新1年生になる子や保護者の思いを聞いて欲しい。アンケートの他に、直接の説明会を希望する。 ・アンケートの配布方法はどのように考えているか。 ・弥生町と幸町と東中のみのアンケートと理解すればよいか。 ・アンケートに追加ができるなら、有終南小学校に通う場合、保護者の立場として通学路に対して不安はあるかという項目を付け加えてほしい。 ・この審議会で結論を出してから座談会を行うと、知らない間に通学区域が変わったことに地区の方が驚くかも知れない。周知が必要かと思う。 	<p>いやその他の事情がある場合は、個別に相談にのる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・陽明中学校区から変更して開成中学校に入学した子は7人いた。 ・1家庭で1回答としたので、児童数だけでは分からないが、概ね5分の1程度の回収率であった。 ・対象地区在住で未就学児の子どもをお持ちの保護者へアンケート調査をしたい。本日、アンケート案をお示ししたので、内容について意見を聞きたい。また、アンケートの対象となった保護者との座談会と、対象地区民を対象とした座談会を開催したい。 ・対象となるお宅に教育総務課から郵送する予定である。案内文にQRコードとインターネットのURLをつけた文書を送付し、スマートフォンやパソコンから回答をしていただき、こちらで回収する方法とする。 ・地域住民の方や保護者の方を対象にした座談会の案内方法等はまだ検討していないが、全戸配布等のお願いをさせていただくことになるかもしれないのでご協力をお願いしたい。 ・結論が出てから座談会をするわけではなく、次回の審議会までに座談会を実施して、その結果を審議会に提出して審議していただくことになる。
--	---

・早い段階から今、このような対象でこういう話をしているということを区民にお知らせしておいて、慎重に協議を進めていくことがより理解を得られると思う。

・周知することはとても大事だと思うが、周知の方法は具体的に何か考えられるか。

・公園の町内の清掃で集まったり、夏祭りで集まったりした時に、その場で軽くこんな話があってこういうふうに進んでいるという話題を出すと、伝わりやすいかと思う。市役所から封書が届いてアンケートが入っていると、正直またアンケートかと思ってしまう。口コミなどが一番良いと思う。

・未就学児のアンケートと、区民対象の座談会を平行してやる予定なら、未就学児の保護者にはアンケートを実施しているということをつけ加えると、より分かりやすく、関心を持たれるのではないかと思う。

・アンケートや座談会についていろんな意見や質問が上がってくることを想定して、質問事項があれば教育委員会へという一文をつけ加えてほしい。

・書面を回したり送ったりするような方法しか思い浮かばないが、若い方にはSNSで周知する方法もあると思う。全員に周知できる方法というと結局、全戸配布することになるかと思う。

・区長の立場から、今のお話はたいへん参考になった。しかし、区民が集まる機会というのは本当に数回しかなく、夏祭りも済んでしまったので、班ごとに回覧できるような資料をいただければと思う。座談会の通知を配布物や回覧の中に入れておくと良いかと思う。